

普及活動情勢報告（平成31年3月分）

安芸農業振興センター農業改良普及課

「中芸地区お国自慢の会」で地域特産品料理を紹介！！ ～中芸地区農漁村女性グループ研究会～



「美味しかった！
是非、我が家で作りたい」

2月14日、中芸地区農漁村女性グループ研究会が、千福公民館（田野町）で「中芸地区お国自慢の会」を開催しました。

農業改良普及課は、アンケート及びレシピの作成、当日の運営を支援しました。会では中芸地区の特産品のピーマン、ミョウガ、シシトウ、米ナス、ナス、ユズを活用した料理20品が出展され、31人が試食しました。

参加者からは、「定期的に同様のものが提供できれば、農家料理として売り出せるが何か手立てはないか」との意見がありました。

農業改良普及課は、今後は料理の伝承ができるような機会を捉えて料理の提供や伝達講習会等を支援します。

オランダ型参考温度管理で品質の良いナスの増収を！ ～ナス品目別現地検討会～



実証ほ中間実績について
説明する普及指導員（中央）

2月19日、県内のナス生産者、関係機関を対象に安芸市の環境制御実施ほ場2ヶ所で現地検討会、安芸集出荷場会議室で情報交換会を開催し、40人が出席しました。

農業改良普及課は、現地検討会でオランダ型参考温度管理実証ほの実証概要と今年度の中間実績と情報交換会では湿度制御による病害防除の取り組みを説明しました。

参加者からは「オランダ型参考温度管理で病害がなくなったのはすごい、自分もやってみたい」といった声が聞かれ、活発な意見交換の場となりました。

農業改良普及課は今後も関係機関と連携し、ナス生産者の所得向上に繋がる技術啓発に努めます。

日南の野菜を作ろう会 ～室戸市吉良川町日南地区の取組～



膝を付き合わせての講習会

室戸市吉良川町日南（ひなた）地区では伝統野菜『ぼたなす』とサトイモを中心に、直販所で「おいしい」と人気の野菜が栽培されています。農業改良普及課室戸支所は、それらの生産向上に向けた取り組みの第一歩として、2月20日に栽培講習会を地区集会所で昼と夜の2回に分けて開催し、計14人が出席しました。

特にナスの土着天敵によるスリップス防除について「そんなえいもんがおるとは知らざった、ぜひ使ってみよう」と参加した農家からは興味津々でした。

農業改良普及課室戸支所は、今後も講習会や現地検討会を開催し、関係機関とともに地域活性化を目指して幅広く支援します。

ユリでも炭酸ガス施用始まる！！
～安芸地区花卉部安芸支部球根部会～



「やっぱ茎が固いね～」

3月5日、農業改良普及課はJA営農指導員と協力して安芸市のユリ生産者の作業場で、栽培中に炭酸ガスを施用して生産したオリエンタル系ユリの切り花品質を調査しました。

調査した結果、オリエンタル系ユリの‘シベリア’の茎が従来に比べて固い傾向が認められました。

炭酸ガス施用を実施したユリ生産者からは、「普段よりも茎が固い気がする」という声も聞かれ、切り花品質の向上に手応えを感じていました。

農業改良普及課は、今後もJAと連携して施設花き栽培での炭酸ガス施用技術を推進し、切り花産地の振興を図ります。

赤ピーマンの品質収量の向上を目指して ～唐浜ピーマン部会～



炭酸ガス施用の効果を説明

3月12日、唐浜ピーマン部会が唐浜集出荷場で勉強会を開催し、生産者7人が参加しました。

農業改良普及課は、安田町の赤ピーマンほ場で発生したナミハダニや黒枯病について対策を指導しました。また、赤ピーマンの環境制御技術の導入効果について実証ほの調査結果を紹介し、収量が増加したことを説明しました。

参加者は炭酸ガス局所施用について普及指導員や実証農家に質問し、活発な意見交換ができました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携して部会活動や個別巡回指導を通じて生産安定や増収技術の普及を進め、赤ピーマンの産地振興を図ります。

集出荷場GAPで事故を無くそう！



チェック中の
普及指導員とJA職員

3月12日、農業改良普及課は、JAと合同で野菜8集出荷場のGAPチェック巡回を行いました。

集出荷場GAPは、異物混入や汚染防止を目的として平成20年度から取り組まれていますが、29年度からは内容を県版準拠GAPに沿ったものにパワーアップして実施しています。

巡回ではチェック項目の確認や出荷場作業員の着帽状況、禁煙や労働安全の掲示の有無等を点検し、出荷場責任者に結果を報告し、改善を呼びかけました。

農業改良普及課は、今後も年4回の集出荷場GAPチェック巡回を行い、その結果を各出荷場の責任者が集まる本部運営委員会で共有し、問題点を改善していきます。